

トラノコ・ファンドⅢ

愛称：大トラ DAI-TORA



第4期 決算日：2021年3月22日

作成対象期間：2020年3月24日～2021年3月22日

<受益者の皆さまへ>

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、ご購入いただいております「トラノコ・ファンドⅢ 愛称：大トラ」は2021年3月22日に第4期決算を行いました。ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	無期限
運用方針	<p>◆ファンドは、マザーファンドの受益証券への投資を通じて、実質的に世界各国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）される上場投資信託証券（以下「ETF」といいます。）および上場指標連動証券（以下「ETN」といいます。）に投資することにより、主として国内外の株式、債券、不動産投資信託（REIT）、コモディティ、金利等に投資します。</p> <p>◆マザーファンドの受益証券の組入比率は、原則として高位を保ちます。</p> <p>◆マザーファンドにおいて、原則として、米ドル建ての実質的外貨建資産に対して0%～100%の範囲で、適時、対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。</p> <p>◆外国為替予約取引は、ヘッジ目的に限定します。</p>
主要投資対象	親投資信託である「トラノコ・マザーファンドⅢ」
組入制限	<ol style="list-style-type: none"> ETFおよびETNへの実質投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。 デリバティブの直接利用は行いません。 一般社団法人投資信託協会の規則に定める一者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの投資信託財産の純資産総額に対する比率は、原則としてそれぞれ10%、合計で20%以内とすることとし、当該比率を超えることとなった場合には、一般社団法人投資信託協会の規則に従い当該比率以内となるよう調整を行うこととします。
収益分配方針	<ol style="list-style-type: none"> ①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 ②分配金額は、委託会社が、信託財産の成長に資することを目的に、上記①の範囲内で、基準価額水準、市況動向等を勘案し決定します。従って、必ず分配を行うものではありません。 ③留保益の運用については、特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

TORANOTEC
ASSET MANAGEMENT

設定以来の運用実績

当ファンドは、ファンド設定後5年間を経過していないため、設定日（2017年4月24日）以降の情報を記載しています。

決 算 期	基 準 価 額 (分配落)	税 込 配 分			投 資 信 託 証 券 組 入 比 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	分 金		
(設 定 日) 2017年4月24日	円 10,000			円 -	% -	百万円 1
1期 (2018年3月20日)	10,291			0	95.0	87
2期 (2019年3月20日)	10,494			0	96.4	319
3期 (2020年3月23日)	8,602			0	94.6	660
4期 (2021年3月22日)	11,986			0	95.6	1,533

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 設定日の純資産は、設定元本を表示しております。

当期中の基準価額等の推移

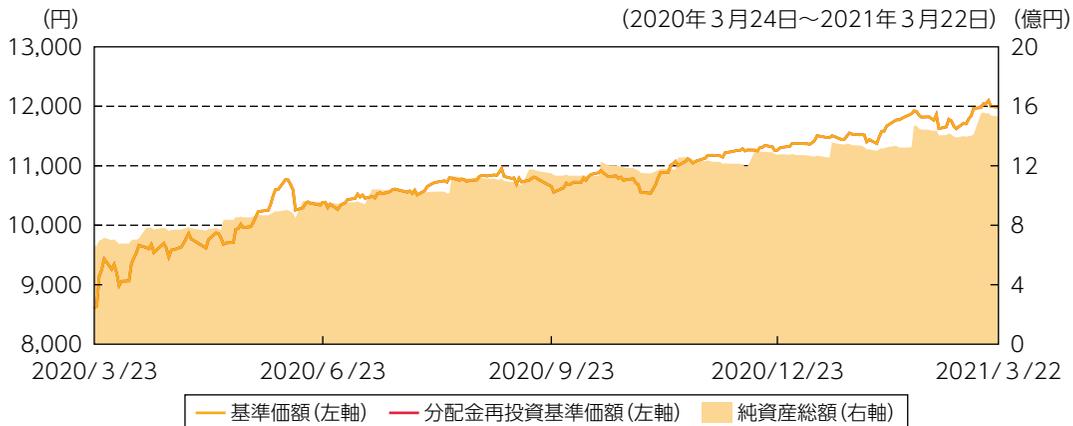
年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		投 資 信 託 証 券 組 入 比 率
		騰 落	率	
(期 首) 2020年3月23日	円 8,602		% -	% 94.6
3月末	9,341		8.6	95.9
4月末	9,862		14.6	96.2
5月末	10,236		19.0	97.7
6月末	10,326		20.0	95.8
7月末	10,512		22.2	96.5
8月末	10,846		26.1	96.0
9月末	10,682		24.2	97.0
10月末	10,551		22.7	96.7
11月末	11,167		29.8	98.0
12月末	11,374		32.2	97.1
2021年1月末	11,439		33.0	96.2
2月末	11,625		35.1	96.5
(期 末) 2021年3月22日	11,986		39.3	95.6

(注) 騰落率は期首の基準価額比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

運用経過

期中の基準価額等の推移



第4期首： 8,602円

第4期末： 11,986円 (既払分配金0円)

騰落率： 39.3% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客様の損益の状況を示すものではありません。

「基準価額」って？

ファンドの値段のことを基準価額といいます。また取引を行う際の単位があり、それを「口(くち)」と呼びます。1口=1円からスタートし、その後、運用の成果により変動します。当ファンドを含む多くのファンドは1万口当たりの基準価額を公表しています。

基準価額の主な変動要因

当ファンドの当期末基準価額は11,986円、期首から+3,384円となりました。2020年度は新型コロナウイルスの感染がパンデミック級に拡大し、株式市場がリーマンショックに次いで大幅に下落したところからのスタートとなりました。低調な推移が予想されましたが、各国政府の経済対策と各国中央銀行の金融緩和政策が世界経済を強力に下支えし、新型コロナワクチンや治療薬の開発が順調だったことから株式市場が大きく上昇しました。それに伴ってREIT市場も上昇し、ファンド全体でも大幅上昇となりました。

(上昇要因)

- ・ 株式市場とREIT市場の値上がり：各国政府・各国中央銀行の政策により世界経済が下支えされ、新型コロナワクチンや治療薬開発の進捗も早いスピードであったため、特に株式市場の上昇が顕著となりました。

(下落要因)

- ・ 株式市場の値下がり：2020年9月～10月は新型コロナウイルスの感染再拡大が起こり、それに伴う営業・外出制限措置が広がりを見せたことから、株式市場が下落しました。

投資環境

(2020年3月24日～2021年3月22日)

<株式市場>

今期の株式市場は、新型コロナウイルスの感染がパンデミック級に拡大し、リーマンショックに次いで大幅に下落したところからのスタートとなりました。低調な推移が予想されましたが、各国政府の経済対策と各国中央銀行の金融緩和政策が世界経済を強力に下支えし、新型コロナワクチンや治療薬の開発が早急に押し進められ、ワクチン接種の開始まで進展したことから世界経済の早期回復へ期待が高まり、主要株式市場は大きく上昇しました。

<債券市場>

新型コロナウイルスの拡大に対する金融緩和政策の一環として、金融当局の債券購入枠が拡大され今期前半の債券市場は好調でした。ただ、今期後半に各国政府における経済対策の財源として国債増発が予想されると、それに伴う長期金利の上昇が危惧されて債券市場は下落していきました。また、経済の早期回復が意識されるとインフレ懸念も浮上して、長期金利の上昇・債券市場の下落に拍車をかけました。通期では若干の上昇となっています。

<REIT市場>

新型コロナウイルスの影響でホテルREITへのインパクトやテレワークによるオフィスREIT需要の低迷が危惧されましたが、株式市場の回復に伴いREIT市場も順調に回復していきました。ただ、米国長期金利が上昇してくると、比較されやすい米国REIT市場の上昇は鈍くなりました。

<商品市場>

商品市場における金（ゴールド）は若干の上昇に留まりました。各国中央銀行の低金利政策により、比較されやすい金（ゴールド）は今期前半上昇しましたが、今期後半に長期金利の上昇が顕著になってくると、金利を生まない金（ゴールド）は需要が低下し下落していきました。

<為替市場>

コロナパンニックでドル需要が高まり111円台まで上昇したドル円は、米国の大規模な金融緩和を背景とした米ドルの売り圧力を受けて円高ドル安方向に進み、年初には103円を割り込みました。しかしその後、米国長期金利の上昇スピードが加速してくると、日米金利差が意識されて急速に円安ドル高となり、110円近くまで戻して今期を終了しました。

当ファンドの運用経過と結果

(2020年3月24日～2021年3月22日)

当ファンドは、トラノコ・マザーファンドⅢを通じて、世界各国の上場投資信託証券（E T F）等に投資しました。価格の振れ幅（リスク・リターン）に特に注目して運用されるこのマザーファンドは、リターンの獲得を特に重視し、中トラ、小トラのマザーファンドと比べると大きめのリスクとなるように計算されたモデルポートフォリオに従って運用されています。

また、為替リスクに関しては、米ドル建ての実質的外貨建て資産に対して、期中に複数回ヘッジ比率の増減調整を行いました。ヘッジ部分は為替変動リスクが低減されますが、期末現在、ヘッジ比率は40.1%です。

新型コロナウイルスの影響で厳しい投資環境でのスタートとなりましたが、各国政府や中央銀行による新型コロナウイルス対策が功を奏して株式市場とR E I T市場が上昇し、ファンド全体の上昇にも貢献しました。通期では、新型コロナウイルスの感染再拡大が意識された時期以外は上昇となりました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2020年3月24日～2021年3月22日)

当ファンドの目的・特色に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。従って、当ファンドとベンチマークおよび参考指数との対比グラフは表示しておりません。

分配金

(2020年3月24日～2021年3月22日)

中長期的な市場見通し等から複利効果を最大限に享受していただくことが最善であると判断し、当期は分配を見合わせました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税引前)

	第4期
	2020年3月24日～2021年3月22日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	1,985

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
 (注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

主として「トラノコ・マザーファンドⅢ」に投資し、投資信託財産の成長を目指して運用を行います。

トラノコ・マザーファンドⅢ

引き続き、運用の基本方針に従い、リターンを重視した最適ポートフォリオを構築することにより、リスク相応のリターンの獲得を目指した運用を行います。

1万口当たりの費用明細

(2020年3月24日～2021年3月22日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	円 35	% 0.329	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は、10,663円です。
(投信会社)	(29)	(0.274)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、基準価額の算出、運用報告書等各種書類の作成等の対価
(販売会社)	(－)	(－)	運用報告書等各種書類の交付、取引口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(6)	(0.055)	ファンド財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	22	0.202	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
(投資信託証券)	(22)	(0.202)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税	0	0.001	(c)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
(投資信託証券)	(0)	(0.001)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用	17	0.155	(d)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(4)	(0.042)	・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用等)	(12)	(0.113)	・監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、弁護士費用、法定提出書類の作成等に要する費用
合計	74	0.687	

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しております。

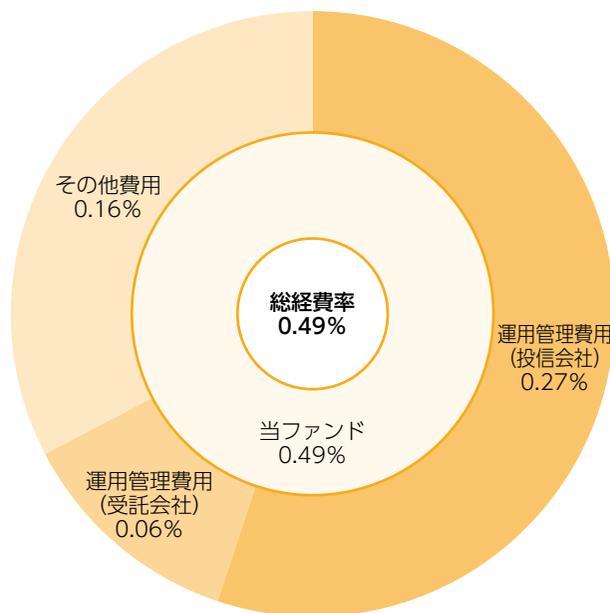
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しております。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.49%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。小数点以下第3位を四捨五入して表示しているため、合計が一致しない場合があります。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

■ 売買及び取引の状況（2020年3月24日～2021年3月22日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

ファンド名称	設定口数	設定金額	解約口数	解約金額
トラノコ・マザーファンドⅢ	千口 513,690	千円 566,000	千口 37,717	千円 41,700

(注) 単位未満は切り捨てております。

■ 利害関係人との取引状況等（2020年3月24日～2021年3月22日）

該当事項はございません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 第二種金融商品取引業を兼業している委託会社の自己取引状況（2020年3月24日～2021年3月22日）

該当事項はございません。

■ 自社による当ファンドの設定・解約状況（2020年3月24日～2021年3月22日）

該当事項はございません。

■ 組入資産の明細（2021年3月22日現在）

親投資信託残高

項目	期首口数	当期末口数	当期末評価額
トラノコ・マザーファンドⅢ	千口 734,992	千口 1,210,965	千円 1,484,037

(注) 口数・評価額の単位未満は切り捨てております。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

■ 投資信託財産の構成（2021年3月22日現在）

項目	当期末	
	評価額	比率
トラノコ・マザーファンドⅢ	千円 1,484,037	% 96.0
コール・ローン等、その他	61,870	4.0
投資信託財産総額	1,545,907	100.0

(注) 金額の単位未満は切り捨てております。

(注) トラノコ・マザーファンドⅢにおいて、当期末における外貨建て純資産（1,136,052千円）の投資信託財産総額（1,484,015千円）に対する比率は76.6%です。

(注) 外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。当期末における邦貨換算レートは1米ドル=108.91円です。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2021年3月22日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,545,907,965
コール・ローン等	61,870,144
トラノコ・マザーファンドⅢ(評価額)	1,484,037,821
(B) 負債	12,812,117
未払解約金	10,041,094
未払信託報酬	2,078,182
未払利息	152
その他未払費用	692,689
(C) 純資産総額(A - B)	1,533,095,848
元本	1,279,076,396
次期繰越損益金	254,019,452
(D) 受益権総口数	1,279,076,396口
1万口当たり基準価額(C / D)	11,986円

- (注) 期首元本額 768,014,575円
 期中追加設定元本額 1,155,829,896円
 期中一部解約元本額 644,768,075円
 (注) 1口当たり純資産額は1.1986円です。

■損益の状況 (2020年3月24日～2021年3月22日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 18,710
支払利息	△ 18,710
(B) 有価証券売買損益	225,106,555
売買益	318,029,200
売買損	△ 92,922,645
(C) 信託報酬等	△ 4,828,920
(D) 当期損益金(A + B + C)	220,258,925
(E) 前期繰越損益金	△ 80,252,620
(F) 追加信託差損益金	114,013,147
(配当等相当額)	(46,406,756)
(売買損益相当額)	(67,606,391)
(G) 計(D + E + F)	254,019,452
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G + H)	254,019,452
追加信託差損益金	114,013,147
(配当等相当額)	(48,358,121)
(売買損益相当額)	(65,655,026)
分配準備積立金	140,006,305

- (注) **(B)有価証券売買損益**は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) **(C)信託報酬等**には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (注) **(F)追加信託差損益金**とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注) 計算期間末における費用控除後の配当等収益 (19,511,447円)、費用控除後の有価証券等損益額 (113,037,953円)、信託約款に規定する収益調整金 (114,013,147円) および分配準備積立金 (7,456,905円) より分配対象収益は254,019,452円 (10,000口当たり1,985円) ですが、当期に分配した金額はありません。

お知らせ

当作成期間中に、運用計画の決定プロセスの見直しを行い、運用部で作成した運用計画は、コンプライアンス部による法令規制および信託約款等への適合性を検証した後、投資政策委員会において審議、承認を経て運用が執行されることとなりました。

また、ファンドの運用実績（パフォーマンス）に関する問題点や改善点等の検証は、運用評価会議からコンプライアンス委員会にて行うこととなりました。

親投資信託

トラノコ・マザーファンドⅢ

運用報告書

第4期 決算日：2021年3月22日

(計算期間2020年3月24日～2021年3月22日)

トラノコ・マザーファンドⅢの第4期に係る運用状況をご報告申し上げます。

○当ファンドの仕組みは次の通りです。

<p>主要投資対象</p>	<p>主として世界各国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）される上場投資信託証券（以下「ETF」といいます。）および上場指標連動証券（以下「ETN」といいます。）への投資を通じて、国内外の株式、債券、不動産投資信託（REIT）、コモディティ、金利等に投資します。なお、債券等に直接投資することもあります。</p>
<p>運用方針</p>	<p>①主としてETFおよびETNへの投資を通じて、国内外の株式、債券、不動産投資信託（REIT）、コモディティ、金利等を対象とした様々な資産クラスに対してリスクに合わせてバランスの取れた分散投資を行います。 ②投資する資産クラスや銘柄の選定については、平均分散アプローチを用いて、運用の基本方針に沿った最適ポートフォリオを構築します。 ③ポートフォリオについては、クオンツ・リサーチに基づいた平均分散アプローチによる最適化を定期的に行うことにより、必要な場合にはポートフォリオの構成比率をリバランスします。 ④原則として、米ドル建ての実質的外貨建資産に対して0%～100%の範囲で、適時、対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。その他の外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 ⑤資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合もあります。</p>
<p>主な投資制限</p>	<p>①ETFおよびETNへの投資割合は制限を設けません。 ②外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 ③デリバティブの直接利用は行いません。 ④外国為替予約取引は、ヘッジ目的に限定します。 ⑤一般社団法人投資信託協会の規則に定める一の者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの投資信託財産の純資産総額に対する比率は、原則としてそれぞれ10%、合計で20%以内とすることとし、当該比率を超えることとなった場合には、一般社団法人投資信託協会の規則に従い当該比率以内となるよう調整を行うこととします。</p>

設定以来の運用実績

当ファンドは、ファンド設定後5年間を経過していないため、設定日（2017年4月24日）以降の情報を記載しています。

決 算 期	基 準 価 額	騰 落 率		投 資 信 託 証 券 入 比 率	純 資 産
		騰	落		
(設 定 日) 2017年4月24日	円 10,000	% -		% -	百万円 0.999
1期 (2018年3月20日)	10,402	4.0		97.3	85
2期 (2019年3月20日)	10,629	2.2		98.9	311
3期 (2020年3月23日)	8,723	△17.9		97.5	641
4期 (2021年3月22日)	12,255	40.5		98.8	1,484

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 設定日の純資産は、設定元本を表示しております。

当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		投 資 信 託 証 券 入 比 率
		騰	落	
(期 首) 2020年3月23日	円 8,723	% -		% 97.5
3月末	9,490	8.8		97.0
4月末	10,022	14.9		99.3
5月末	10,406	19.3		99.2
6月末	10,514	20.5		96.3
7月末	10,713	22.8		97.9
8月末	11,059	26.8		97.7
9月末	10,895	24.9		97.6
10月末	10,763	23.4		96.9
11月末	11,396	30.6		99.0
12月末	11,615	33.2		98.6
2021年1月末	11,687	34.0		97.7
2月末	11,880	36.2		98.2
(期 末) 2021年3月22日	12,255	40.5		98.8

(注) 騰落率は期首比です。

期中の基準価額等の推移

(2020年3月24日～2021年3月22日)



当ファンドの当期末基準価額は12,255円、期首から+3,532円となりました。2020年度は新型コロナウイルスの感染がパンデミック級に拡大し、株式市場がリーマンショックに次いで大幅に下落したところからのスタートとなりました。低調な推移が予想されましたが、各国政府の経済対策と各国中央銀行の金融緩和政策が世界経済を強力に下支えし、新型コロナワクチンや治療薬の開発が順調だったことから株式市場が大きく上昇しました。それに伴ってREIT市場も上昇し、ファンド全体でも大幅上昇となりました。

(上昇要因)

- ・ 株式市場とREIT市場の値上がり：各国政府・各国中央銀行の政策により世界経済が下支えされ、新型コロナワクチンや治療薬開発の進捗も早いスピードであったため、特に株式市場の上昇が顕著となりました。

(下落要因)

- ・ 株式市場の値下がり：2020年9月～10月は新型コロナウイルスの感染再拡大が起これ、それに伴う営業・外出制限措置が広がりを見せたことから、株式市場が下落しました。

投資環境

(2020年3月24日～2021年3月22日)

<株式市場>

今期の株式市場は、新型コロナウイルスの感染がパンデミック級に拡大し、リーマンショックに次いで大幅に下落したところからのスタートとなりました。低調な推移が予想されましたが、各国政府の経済対策と各国中央銀行の金融緩和政策が世界経済を強力に下支えし、新型コロナワクチンや治療薬の開発が早急に推し進められ、ワクチン接種の開始まで進展したことから世界経済の早期回復へ期待が高まり、主要株式市場は大きく上昇しました。

<債券市場>

新型コロナウイルスの拡大に対する金融緩和政策の一環として、金融当局の債券購入枠が拡大され今期前半の債券市場は好調でした。ただ、今期後半に各国政府における経済対策の財源として国債増発が予想されると、それに伴う長期金利の上昇が危惧されて債券市場は下落していきました。また、経済の早期回復が意識されるとインフレ懸念も浮上して、長期金利の上昇・債券市場の下落に拍車をかけました。通期では若干の上昇となっています。

<REIT市場>

新型コロナウイルスの影響でホテルREITへのインパクトやテレワークによるオフィスREIT需要の低迷が危惧されましたが、株式市場の回復に伴いREIT市場も順調に回復していきました。ただ、米国長期金利が上昇してくると、比較されやすい米国REIT市場の上昇は鈍くなりました。

<商品市場>

商品市場における金（ゴールド）は若干の上昇に留まりました。各国中央銀行の低金利政策により、比較されやすい金（ゴールド）は今期前半上昇しましたが、今期後半に長期金利の上昇が顕著になってくると、金利を生まない金（ゴールド）は需要が低下し下落していきました。

<為替市場>

コロナパンニックでドル需要が高まり111円台まで上昇したドル円は、米国の大規模な金融緩和を背景とした米ドルの売り圧力を受けて円高ドル安方向に進み、年初には103円を割り込みました。しかしその後、米国長期金利の上昇スピードが加速してくると、日米金利差が意識されて急速に円安ドル高となり、110円近くまで戻して今期を終了しました。

当ファンドの運用経過と結果

当ファンドは、世界各国の上場投資信託証券（ETF）等に投資しました。価格の振れ幅（リスク・リターン）に特に注目して運用されるこのマザーファンドは、リターンの獲得を特に重視し、中トラ、小トラのマザーファンドと比べると大きめのリスクとなるように計算されたモデルポートフォリオに従って運用されています。

また、為替リスクに関しては、米ドル建ての実質的外貨建て資産に対して、期中に複数回ヘッジ比率の増減調整を行いました。ヘッジ部分は為替変動リスクが低減されますが、期末現在、ヘッジ比率は40.1%です。

新型コロナウイルスの影響で厳しい投資環境でのスタートとなりましたが、各国政府や中央銀行による新型コロナウイルス対策が功を奏して株式市場とREIT市場が上昇し、ファンド全体の上昇にも貢献しました。通期では、新型コロナウイルスの感染再拡大が意識された時期以外は上昇となりました。

今後の運用方針

引き続き、運用の基本方針に従い、リターンを重視した最適ポートフォリオを構築することにより、リスク相応のリターンの獲得を目指した運用を行います。

1万口当たりの費用明細

(2020年3月24日～2021年3月22日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 売買委託手数料 (投資信託証券)	円 22 (22)	% 0.205 (0.205)	(a)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有価証券取引税 (投資信託証券)	0 (0)	0.001 (0.001)	(b)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) その他費用 (保管費用)	5 (5)	0.043 (0.043)	(c)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 ・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
合計	27	0.249	
期中の平均基準価額は、10,870円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

■ 売買及び取引の状況 (2020年3月24日～2021年3月22日)

投資信託証券

	国	銘柄名	単位数又は口数	買付額	単位数又は口数	売付額
国内	日本	TOPIX連動型上場投資信託	□ 60,500	千円 109,810	□ 33,140	千円 54,861
		NEXT FUNDS 東証REIT指数連動型上場投信	44,950	85,326	8,170	14,541
		小計 証券数・金額	105,450	195,137	41,310	69,403
国外	アメリカ	ISHARES CORE U.S. AGGREGATE	□ 14,250	千ドル 1,678	□ 13,782	千ドル 1,614
		VANGUARD TOTAL INTL BOND ETF	11,470	663	8,358	485
		ISHARES JP MORGAN USD EMERGI	5,211	572	851	93
		ISHARES GOLD TRUST	21,255	362	569	10
		SCHWAB U.S. TIPS ETF	15,069	936	-	-
		Vanguard Short-Term Corporate Bond ETF	11,712	967	7,362	611
		VANGUARD FTSE EUROPE ETF	13,637	709	3,093	189
		VANGUARD GLOBAL EX-US REAL ESTATE ETF	6,058	292	9,808	529
		VANGUARD MID CAP ETF	4,046	795	2,775	461
		VANGUARD S&P 500 ETF	5,336	1,741	305	102
		VGRD FTSE ALL WRLD EX US SML CAP ETF	3,353	368	1,081	114
VANGUARD FTSE EMERGING MARKET	6,737	294	2,956	134		
	小計 証券数・金額	118,134	9,383	50,940	4,347	
	アイルランド	VANGUARD FTSE DEVELOP EUROPE UCITS ETF	□ 5,248	千ユーロ 135	□ 41,841	千ユーロ 1,135
			5,248	135	41,841	1,135
国内		小計 証券数・金額	5,248	135	41,841	1,135

(注) 金額は受け渡し代金です。

(注) 単位未満は切り捨てております。ただし、単位未満の場合は小数で記載しております。

■ 主要な売買銘柄 (2020年3月24日～2021年3月22日)

銘柄	柄	単位数又は口数	買付金額	銘柄	柄	単位数又は口数	売付金額
VANGUARD S&P 500 ETF(アメリカ)	□	千円	5,336	183,719	ISHARES CORE U.S. AGGREGATE(アメリカ)	□	千円
ISHARES CORE U.S. AGGREGATE(アメリカ)	14,250	178,436	VANGUARD FTSE DEVELOP EUROPE UCITS ETF(ユーロ・アイルランド)	41,841	137,511		
TOPIX連動型上場投資信託	60,500	109,810	Vanguard Short-Term Corporate Bond ETF(アメリカ)	7,362	63,827		
Vanguard Short-Term Corporate Bond ETF(アメリカ)	11,712	102,890	VANGUARD GLOBAL EX-US REAL ESTATE ETF(アメリカ)	9,808	55,325		
SCHWAB U.S. TIPS ETF(アメリカ)	15,069	98,148	TOPIX連動型上場投資信託	33,140	54,861		
NEXT FUNDS 東証REIT指数連動型上場投信	44,950	85,326	VANGUARD TOTAL INTL BOND ETF(アメリカ)	8,358	50,729		
VANGUARD MID CAP ETF(アメリカ)	4,046	83,771	VANGUARD MID CAP ETF(アメリカ)	2,775	49,410		
VANGUARD FTSE EUROPE ETF(アメリカ)	13,637	75,865	VANGUARD FTSE EUROPE ETF(アメリカ)	3,093	19,750		
VANGUARD TOTAL INTL BOND ETF(アメリカ)	11,470	70,223	NEXT FUNDS 東証REIT指数連動型上場投信	8,170	14,541		
ISHARES JP MORGAN USD EMERGI(アメリカ)	5,211	60,796	VANGUARD FTSE EMERGING MARKET(アメリカ)	2,956	14,211		

(注) 金額は受け渡し代金です。(償還分は含まれておりません。)

■ 利害関係人との取引状況等 (2020年3月24日～2021年3月22日)

該当事項はございません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 組入資産の明細 (2021年3月22日現在)

国内投資信託証券

銘	柄	期 首	当 期		末
		単位数又は口数	単位数又は口数	評 価 額	組 入 比 率
		□	□	千円	%
TOPIX連動型上場投資信託		74,970	102,330	212,130	14.3
NEXT FUNDS 東証REIT指数連動型上場投信		19,570	56,350	119,462	8.0
合計 単位数又は口数・金額		94,540	158,680	331,592	
合計 銘柄数<比率>		2	2	<22.3%>	

(注) 合計欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注) 単位未満は切り捨てております。

外国投資信託証券

銘	柄	期 首		当 期		組 入 比 率
		単位数又は口数	単位数又は口数	評 価 額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)		□	□	千ドル	千円	%
ISHARES CORE U.S. AGGREGATE		5,429	5,897	669	72,900	4.9
VANGUARD TOTAL INTL BOND ETF		8,633	11,745	670	73,013	4.9
ISHARES JP MORGAN USD EMERGI		4,301	8,661	946	103,089	6.9
ISHARES GOLD TRUST		11,966	32,652	542	59,067	4.0
SCHWAB U.S. TIPS ETF		—	15,069	916	99,848	6.7
Vanguard Short-Term Corporate Bond ETF		3,802	8,152	671	73,095	4.9
VANGUARD FTSE EUROPE ETF		—	10,544	666	72,587	4.9
VANGUARD GLOBAL EX-US REAL ESTATE ETF		3,750	—	—	—	—
VANGUARD MID CAP ETF		4,128	5,399	1,196	130,325	8.8
VANGUARD S&P 500 ETF		2,376	7,407	2,660	289,789	19.5
VGRD FTSE ALL WRLD EX US SML CAP ETF		3,881	6,153	802	87,430	5.9
VANGUARD FTSE EMERGING MARKET		8,910	12,691	670	72,992	4.9
小計 証券数・金額		57,176	124,370	10,413	1,134,141	
小計 銘柄数<比率>		10	11	—	<76.4%>	
(ユーロ・・・アイルランド)				千ユーロ		
VANGUARD FTSE DEVELOP EUROPE UCITS ETF		36,593	—	—	—	—
小計 証券数・金額		36,593	—	—	—	—
小計 銘柄数<比率>		1	—	—	<—%>	
合計 証券数・金額		93,769	124,370	—	1,134,141	
合計 銘柄数<比率>		11	11	—	<76.4%>	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) < >内は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注) 単位未満は切り捨てております。

<組入上位 E T F の概要>

※発行会社作成のANNUAL REPORTから内容を抜粋しています。

Vanguard S&P 500 ETF

Fund Allocation

As of December 31, 2020

Communication Services	10.8%
Consumer Discretionary	12.7
Consumer Staples	6.5
Energy	2.3
Financials	10.4
Health Care	13.5
Industrials	8.4
Information Technology	27.6
Materials	2.6
Real Estate	2.4
Utilities	2.8

The table reflects the fund's investments, except for short-term investments and derivatives. Sector categories are based on the Global Industry Classification Standard ("GICS"), except for the "Other" category (if applicable), which includes securities that have not been provided a GICS classification as of the effective reporting period.

The fund may invest in derivatives (such as futures and swap contracts) for various reasons, including, but not limited to, attempting to remain fully invested and tracking its target index as closely as possible.

<組入上位ETFの概要>

※発行会社作成のANNUAL REPORTから内容を抜粋しています。

TOPIX連動型上場投資信託

(1)【貸借対照表】

(単位：円)

	第18期 (2019年7月10日現在)	第19期 (2020年7月10日現在)
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	1,376,207,105,615	1,750,683,397,344
株式	9,135,541,378,130	11,271,735,809,680
派生商品評価勘定	1,045,349,775	-
未収入金	42,398,160,366	128,176,212,661
未収配当金	12,824,327,525	15,879,955,274
未収利息	30,906,215	41,408,374
その他未収収益	851,281,289	2,071,390,897
差入委託証拠金	4,731,594,807	31,493,942,680
流動資産合計	10,573,630,103,722	13,200,082,116,910
資産合計	10,573,630,103,722	13,200,082,116,910
負債の部		
流動負債		
派生商品評価勘定	-	15,216,411,740
未払金	209,973,122	5,449,199,535
未払収益分配金	190,989,369,350	240,446,898,803
未払受託者報酬	2,152,948,919	2,487,929,886
未払委託者報酬	4,043,753,564	4,827,456,003
未払利息	3,051,786	977,984
有価証券貸借取引受入金	1,134,308,832,370	1,375,809,041,993
その他未払費用	1,168,243,410	1,416,876,042
流動負債合計	1,332,876,172,521	1,645,654,791,986
負債合計	1,332,876,172,521	1,645,654,791,986
純資産の部		
元本等		
元本	7,169,270,621,250	9,135,520,471,250
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金(△) (分配準備積立金)	2,071,483,309,951	2,418,906,853,674
	468,963,677	457,924,924
元本等合計	9,240,753,931,201	11,554,427,324,924
純資産合計	9,240,753,931,201	11,554,427,324,924
負債純資産合計	10,573,630,103,722	13,200,082,116,910

<組入上位ETFの概要>

※発行会社作成のANNUAL REPORTから内容を抜粋しています。

Vanguard Mid-Cap ETF

Fund Allocation

As of December 31, 2020

Basic Materials	3.8%
Consumer Discretionary	15.3
Consumer Staples	4.3
Energy	3.1
Financials	11.3
Health Care	11.6
Industrials	13.2
Other	0.0
Real Estate	8.6
Technology	20.4
Telecommunications	2.1
Utilities	6.3

The table reflects the fund's investments, except for short-term investments and derivatives. Sector categories are based on the Industry Classification Benchmark ("ICB"), except for the "Other" category (if applicable), which includes securities that have not been provided an ICB classification as of the effective reporting period.

The fund may invest in derivatives (such as futures and swap contracts) for various reasons, including, but not limited to, attempting to remain fully invested and tracking its target index as closely as possible.

■投資信託財産の構成 (2021年3月22日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投 資 信 託 受 益 証 券	千円 1,465,733	% 98.8
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	18,282	1.2
投 資 信 託 財 産 総 額	1,484,015	100.0

(注) 金額の単位未満は切り捨てております。

(注) 当期末における外貨建て純資産 (1,136,052千円) の投資信託財産総額 (1,484,015千円) に対する比率は76.6%です。

(注) 外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。当期末における邦貨換算レートは1米ドル=108.91円です。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2021年3月22日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,939,255,250
コール・ローン等	16,388,788
投資信託受益証券(評価額)	1,465,733,609
未収入金	456,260,191
未収配当金	872,662
(B) 負債	455,239,940
未払金	455,239,905
未払利息	35
(C) 純資産総額(A - B)	1,484,015,310
元本	1,210,965,175
次期繰越損益金	273,050,135
(D) 受益権総口数	1,210,965,175口
1万口当たり基準価額(C/D)	12,255円

(注) 当親ファンドの期首元本額は734,992,966円、期中追加設定元本額は513,690,136円、期中一部解約元本額は37,717,927円です。

(注) 当親ファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額は、【元本の内訳】の通りです。

(注) また、1口当たり純資産額は1.2255円です。

【元本の内訳】

トラノコ・ファンドⅢ 1,210,965,175円

■損益の状況 (2020年3月24日～2021年3月22日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	19,948,708
受取配当金	19,977,617
受取利息	2,162
支払利息	△ 31,071
(B) 有価証券売買損益	299,074,647
売買益	338,259,602
売買損	△ 39,184,955
(C) 信託報酬等	△ 450,944
(D) 当期損益金(A + B + C)	318,572,411
(E) 前期繰越損益金	△ 93,850,067
(F) 追加信託差損益金	52,309,864
(G) 解約差損益金	△ 3,982,073
(H) 計(D + E + F + G)	273,050,135
次期繰越損益金(H)	273,050,135

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。